

人間を救うのは、人間だ。



「炊き出し」を 地域の中に、教育の中に。

「炊き出し」からはじめる減災を静岡に。

赤十字奉仕団が地域で、学校で、
自助、共助の大切さを伝えています。



「炊き出し」 からはじめる減災！

減災の取り組み、できていますか？被災して命が助かったとき、
心配になる一つは食事のこと。温かい食事は、頑張る力を与えてくれます。
日本赤十字社静岡県支部では、平成26年から災害に備え、炊き出し体制を強化。
炊き出しリーダー※の養成や炊き出し器材の整備を行いながら、
「炊き出し」からはじめる減災を地域に、学校に、広めています。

※炊き出しリーダーとは、日本赤十字社静岡県支部が行う「炊き出しリーダー養成講習会」で、
包装食袋を使った炊き出しの方法や器材の取り扱い、被災者への接し方などを学んだ地域赤十字奉仕団員をいう。



ご協力ありがとうございます。

炊き出し器材を地域に整備中！

災害などの際に、温かい食事を大勢の被災者に配ることができる炊き出し。日本赤十字社静岡県支部では、炊き出しに欠かせない「釜」などの器材を整備しています。その原資は、皆さまからお寄せいただいた活動資金です。赤十字の活動を支えている皆さまのご支援により、学校や地域で「炊き出し」の活動を継続することができます。



学校で

学校での防災教育

炊き出しを通じて、児童・生徒と地域のボランティアが共に、防災・減災について考え、取り組んでいます。取り組みの中で重要なことは、自分や家族の命を守る「自助」、そして自分たちの地域は自分たちで守る「共助」です。児童・生徒は、炊き出しに積極的に参加することで、「自助」「共助」の大切さを学びます。工夫次第でおいしくなるのも、炊き出しならではの味わいです。



▲ 静清高等学校での炊き出し

地域赤十字奉仕団員の指導により、包装食袋を使ったカレーライスづくりに挑戦。その他にも避難所で使える新聞紙スリッパの作り方などを学びました。



▲ 静岡市立蒲原東小学校での炊き出し

子どもたちが真剣な表情で学ぶのは、包装食袋を使った炊き出しの基本ともいえる「白米の炊き方」。減災のために大切な「共助」を実践し、みんなで協力してつくりました。

炊き出し出張講座

地域の声に応える「炊き出し出張講座」

自治会・町内会からの「炊き出しを学びたい!」という声に応えるため、平成29年度からモデル事業として炊き出し出張講座を行っています。平成30年度に実施した浜松市天竜区佐久間町浦川地区は、過去に水害に見舞われた防災意識が高い地域。被災を経験しているということもあり、参加者は真剣に炊き出しについて学んでいました。



地域で



炊き出しリーダーVOICE

参加者に応じて炊き出しの伝え方を工夫し、楽しみながら取り組んでいます!!



私は約5年前から炊き出しリーダーとして、主に静岡市清水区内での活動に携わっています。これまで学校や地域に積極的に向き、子どもから高齢者・外国人など様々な方を対象に、災害時の炊き出しの重要性を伝えてきました。説明の際は、参加者によって伝え方や献立を工夫しています。例えば、誰もが見て理解できるようにイラストを用いて作り方を説明したり、対象者が子どもだった場合は安全面を考慮し、年齢に合わせて体験できる献立を考えたり

● 炊き出しリーダー 吉野ちよみさん

します。また、参加者の方に被災した時の状況をイメージしてもらいながら、実際に役立つ知識と技術をお伝えするように努めています。

活動を続ける中で、新たなニーズや課題が出ますが、そのたびに工夫して楽しみながら取り組んでいます。今後も地域の減災意識を高める一助となるよう、炊き出しの活動を広げていきたいです。



子どもたちに赤十字の想いを伝えたい!



絵本「ハートラちゃんのおはなし」 原画引き渡し式を開催



3月5日、日本赤十字社公式マスコット・キャラクターを主人公とした絵本「ハートラちゃんのおはなし」の原画引き渡し式が行われ、絵本の挿絵を手掛けた常葉大学造形学部の学生から、日本赤十字社静岡県支部に原画が贈られました。この原画引き渡し式には、市内の青少年赤十字加盟園である小百合キンダーホームの園児たちも参加し、学生による読み聞かせで絵本を鑑賞。園児たちは、学生が読むおはなしに聞き入っていました。「思いやり」「やさしさ」の心を育むきっかけとなるよう、「苦しんでいる人を救いたい」という日本赤十字社の想いを、絵本を通じて子どもたちに伝えます。今後、県下の幼稚園やこども園などに配付予定です。



絵本の内容は、静岡県支部ホームページ内の
青少年赤十字事業ページにて公開中!!



PRESENT!

「ハートラちゃん」手ぬぐいを10名様にプレゼント!

以下を明記のうえ、郵送・FAX・メールでご応募ください。

①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかvol.123のご意見・ご感想

※回覧で読みになった方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.123希望」とお書きください。
なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～④を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募先

郵 送：〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部 組織振興課
FAX：054-254-5830 メール：koho@shizuoka.jrc.or.jp

応募締切

2019年10月31日(木)必着
当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



※「手ぬぐい」の色は選べません。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社

静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 <http://www.shizuoka.jrc.or.jp>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。